

「地域交流イベント」提案一覧

委員名	自治会協議会					5街区町会	小学校	中学校	公募				
	竹部	原	庄司	藤井	山本	阿久澤	加納	内田	角田	石井	納谷	矢代	田村
事業名 テーマ	高齢者対策	楽しく住よい地域作り	全員集合・地域の輪	武里団地秋まつりin盆踊り大会			みんなで集まりお互いを理解しよう!	武里大枝地区子どもまつり		①盆おどり×Bon Dance ②武里大枝ソーラン	(団地内)外国人との交流-外国人を含めての"居場所づくり" (多岐に亘る課題のひとつとして今回の提議する)	大人も子どもも楽しもう!	みんなでスポーツを楽しもう
対象	全住民	高齢者と地域住民、外国人と日本人、子ども	地域住民、高齢者、外国人、子供、それに商店街の人	地域住民、外国人、子供	—	—	こどもを含むすべての地域住民	地区内に在住するこども及びその友達、保護者、在住者		全員	特に高齢者と外国人との交流(のむずかしさ)	高齢者、子育て世代の大人、子ども、地域住民、中学生や高校生など	外国にルーツを持つ人と住民
会場	市民センター	武里大枝市民センター中心	市民センター講堂(イベント夏なので)	けやき通り	—	大枝市民センター、集会所、公園	市民センター及びその周辺	公園		武里大枝市民センターホール	公園(外国人がたむろしている) 運動場(外国人がサッカーチームを作りプレーしている) セブンイレブンのeat-inスペースの活用(是非)	近隣公園又はゆっくの1F、2F、広い場所	団地内公園、市民センター
課題	高齢者と住民の交流を深める。	前回のフレイル予防のような会合で意識を高める。高い高齢化率、外国人の急増、子どもの減少	自然災害(年々暑い日が続く、外に出る回数が少なくなっている事など)	露天商の問題(子供の減少により売上はどうか) 自治協としての参加の仕方(高齢化のためできることに限界があります) 外国人の参加・かかわり・つながり	—	こどもの減少、高齢者の増加、その中に外国人の増加。若い人もいると思いますが、何事も参加することがない。若い人が進んでやってくれる様なものを考える	どれだけの人数の参加者及び賛同者・協力者を得られるか	予算面(用具、ボランティア、テント、ゲーム、遊び用具等)		イベントの周知、参加者を集めること、スタッフの確保	外国人の急増が実感される一方、住民の認識が伴っていない(協議会での状況把握の共有が不可欠) ・居住外国人の実態-国籍別人口、職業、年齢層の分布など ・交流の実状-先例の把握-市にするもの、ボランティアによるもの、など	外国の方のマナー(公園で夜、音楽などをながしていると聞いた事があります) イベント情報の発信のしきた	言葉、習慣、風習
ねらい 課題解決の ビジョン	市民センターを会場とし、住民が集まり、食事(1パイ)をしながら、関係を深め、活性化につなげる。			地域住民は昔のまつりを思い出し、外国人は日本の地域まつりを感じ、子供たちは思い出を作り、コミュニケーション作りができる。	—		本事業の開催により、何よりも同じ地域に住む者同士の立場を知り、互いに支えあう素地づくりを推進する。	幼い子、小学生、中学生らが楽しみ、保護者を含めた大人が住みやすい街を感じるため		踊りやダンスは老若男女や外国の方でも関係なく出来る。	交流のむずかしさ(言語の問題+日本人の社交べた)の認識を前提に、交流の目標、手段を改めて考える そのことを通して、住民相互の交流を深められないか?(住民参画への道を開く)	さまざまな年代の方との交流、子育て中の親子のコミュニティの活性化をはかる。	知らないとなら身がまえることが多くなるので、ゆるやかな関係が(住民と外国人の人の一緒にやっている姿)目に入れば、安心感を与える
協力機関 及び団体	自治会、URコミュニティ、支援センター、市民センター、社協、全ての機関	役員不足、高齢化の為人材不足をいかに補うか。	第6包括、男のセカンドライフの皆さん	団地商店街、銀行、郵便局、スーパー、市民センター、自治協、5街区、UR、包括(団地にかかわりのあるすべての機関)	—		武里地区市民センター、自治会協議会、5街区町会、URコミュニティ、南地区小中学校(武里南小・武里西小・春日部南中)	自治会、小学校、中学校		①あるならば春日部音頭保存会の方とか ②小・中学校	春日部市国際交流協会(の活動を知る) 日本語教室団体(日本語スピーチ大会を主催) 外国語教室(英会話を初め、中国語教室などの参加者の活用可否)	自治会、子育て支援など(近隣の保育園、幼稚園)	外国ルーツの生徒たちの力を借りて、公園に集まる人たちとコミュニケーションを図る。
企画運営 上の工夫	市民センターに場所等お願いし、参加者が楽しみ、交流を深める。(食事等を作り、皆で食する。)	それぞれ外国の方を交えるため色々な国々の方が翻訳機など使用して。	保育所の子供(親同伴)合唱	上記、すべての代表が集まり、企画運営をする。外国人代表も参加できると良い(日本語教室の先生の協力を得る)	—	高齢者の方々に、昔の遊びの作り方、遊び方を知ってる人々に、日本の子供、外国の子供を集めてやったらどうですか。子供の輪を作りましょうよ。	これまでの同様のイベントの運営に携わった方々に協力を依頼する。 市役所内の関係課と連携協力を依頼し、多方面からのバックアップ体制を構築する。 特に外国人の方とのふれあいでは、重要テーマを「食文化」とし、郷土料理などをふるまう活動をしていきたい。そのためには、近隣料理店等とも協力を求めたい。	参加賞、景品が全て無料であること。 PRの作戦が必要	風船バレー、輪投げ、室内で暗くし体験談発表会、おかしな飲みつきゲーム、こども大人も阿波踊り、吹き矢ゲーム、ジェスチャー対抗合戦、手中生マジック大会、いすとりゲーム、たるまさんが転んだ、震源地ゲーム、おしり相撲	外国人と吾々の言語の実状、地手方の言語(英語の通用性?フランス語?主としてアフリカ語圏をどこまで理解できるか?) この実状を知らなくて、実のある交流策はむずかしい。 ※川口市の"クルド人問題"は参考例とならないか?	子ども、高齢者、外国人など、それぞれの関連事業所。昔の遊びなど、高齢の方から子どもたちが楽しめるあそび(おて玉、けん玉、ペーゴマ、おりがみ、わりばしつぼうなど)。外国の料理、音楽、民族衣装など。スタンプラリー(春日部駅周辺でのイベントで子どもも大人も楽しんでいました。)	中学校(小学校)のボランティア活動のあとおし、地域でスポーツをしているグループの協力	
その他	自分たちで作る、食べる、歓談をする。(アルコールも可)楽しいと思います。		ビンゴ大会、屋台の設置(2~3個)		—		食材の調達費用はどうするか。また、開催時期にもよるが、食中毒等の安全性の確保をどのようにするかなどは、重要な解決課題となる。さらに、参加対象を高齢者とこどもと位置づけると、食べられる料理選びも簡単でないように思われる。			外国人交流に並行して、住民の"居場所づくり"を実現したい(住民の集まる場所へ外国人も参入することができれば理想的) この協議会で皆さんに訴えたい、思案ですが。 ・chat bench チャットベンチの設置-会話をお勧めのベンチ・bar(詳細説明が必要ですか?)-既存の"ふれあい喫茶"(毎週水曜日開催)の恒常化は可能か?	ワンオペで子育てしている母が多く、仕事と育児に毎日おわわっている、一人ではやれない方が多いです。 高齢の方からも子を通じて、家で1人だから、公園にきて、子どもとお話できると楽しいと聞いたことがあります。このご時世だから、話しかけづらい、親も警戒してしまいます。私が子育てで気づいたことです。		